

目次

| | |
|------------------|---------|
| 生命科学図書館20周年 | P.1-3 |
| グローバル・コモンズ オープン | P.4-5 |
| ディスカバリー・サービス提供開始 | P.6-7 |
| 蔵書検索システムリニューアル | P.8-9 |
| 図書館TAを紹介します! | P.10-11 |
| NEWS 図書館からのお知らせ | P.12-13 |
| キャリア支援コーナー | P.14 |
| 遺跡リポジトリ・シンポジウム報告 | P.15-16 |

生命科学図書館の前身・中之島分館の設立経緯を記した銘板



生命科学図書館20周年

河村悟副館長
略歴

河村副館長インタビュー

生命科学図書館は2012年4月に設置20周年を迎えました。そこで、この節目の年に副館長に就任された、生命機能研究科・河村悟教授に図書館や情報収集について、お話を伺いました。

大阪大学での図書館利用

大阪大学では最初は豊中キャンパスの理学研究科に赴任しましたので、図書館といえば、理学部の図書室でした。ただ、住まいが吹田キャンパスの近くでしたので、帰りに生命科学図書館に来て、雑誌論文を読んだり、コピーしたりということとはよくありました。

図書館利用と情報収集方法の変化

私の場合、思い返せば情報収集の方法は大きく3段階変化してきたようでした。

まず、「**図書館で調べ、図書館で入手する**」時代がありました。図書館に行くと、新着の主要雑誌の目次を1つずつ繰って、必要な論文がないかチェックしていました。

次の時代は「**研究室で調べ、図書館で入手する**」時代です。Current Contents(1)という便利なサービスがあって、毎週研究室に届く冊子をチェックして、必要な論文について図書館に行くと入手していました。



河村悟 生命科学図書館担当副館長
(生命機能研究科 教授)

そして現在は「**研究室で調べ、研究室で入手する**」時代です。研究室からもアクセスできるデータベースで論文情報を調べ、論文自体も電子ジャーナルで入手できる。古い論文で電子ジャーナルがないものは、図書館に行くことも時折ありますが、古い部分も利用できるものが増えてきましたから、そういうこともさらに減ってきましたね。

今後の図書館のあり方について

我々医学生物学分野の研究者は、PubMed(2)で簡単に情報検索ができてしまうため、調べ方を教えてほしいというニーズはあまりないように思います。理系の研究者でも、文献検索を秘書さんなど

京都大学大学院理学研究科 生物物理学専攻修了。博士(理学)。ウィスコンシン大学研究員、慶應義塾大学医学部助手、同専任講師、助教を経て、1995年より大阪大学大学院理学研究科教授。2002年より大阪大学大学院生命機能研究科教授、現在に至る。2012年4月より生命科学図書館担当副館長。感覚の刺激受容メカニズムが専門で、とくに視覚についての研究を行っている。

(1) Current Contents
ISI社 (Institute for Scientific Information) が1973年に提供を始めた、分野ごとの主要学術雑誌の最新の目次を集めた週刊誌。雑誌現物の到着よりも早く最新号の情報を入手できることや、著者索引やキーワード索引で調べられることから、研究者に重宝された。

(2) PubMed
アメリカ国立医学図書館が、1996年1月より提供している医学・生物学分野の論文検索サービス。誰でも無料で検索できる。

フォトギャラリー

生命科学図書館の あゆみ



前身：中之島分館
1959-1991



貴重な所蔵資料を複写しに来る人がたえませんでした。



吹田地区へ



今のくじら屋さんの場所は、まだ駐車場です。

研究補助者がやっている場合はまだニーズがあるのかもしれないですが。例えば論文の英文添削サービスを提供してくれたりするとうれしいのだけれど、なかなか難しいかな。

図書館は学生をターゲットにして生き残るしかないのかもしれないですね。私は学生時代は時間があれば、サークル活動とそのあとは麻雀で過ごしていた不真面目な学生でしたが（笑）、今どきの学生はラーニング・コモンズのような場所があれば、いろいろ考えて活用してくれるかもしれないですね。

今回のように研究者のニーズを直接聞くというのはいいことだと思います。なんだか副館長になっておきながら申し訳ないのですが、研究者としては、現在ほとんど物理的な図書館の必要性を感じないし、とくにこういうサービスがあったらいいということも感じていません。ただ、電子ジャーナルの整備や、学生が自ら学ぶ場として図書館が不可欠であることは変わらないと思います。まだ妙案は浮かびませんが、副館長として今後図書館がどうしていけばいいのか考えていきたいと思っています。（終）

取材：吹田地区図書館サービス課
土出郁子、白石真之、藤江雄太郎



生命科学図書館の20年を振り返って

随分、変わりました

蛋白質研究所名誉教授 高木俊夫

教養部で、最初に大学図書館と出会いました。木枠のガラス戸が開き、旧制高校以来らしい小父さんの顔。貸し出された書籍には、書き込みや切り取り部分が多く、ガッカリさせられました。やがて、中之島図書館に足を踏み入れ、初めて大学の図書館らしい雰囲気を感じました。それが、吹田学舎に移ってきて、堂々たる生命科学図書館が出現しました。あれ以来、もう20年なんですね。

本学の図書館は、着実に整備されてきました。この間の図書館職員の皆さん、そして関与された教員各位の御努力に、感謝します。



生命科学図書館にかぎると、従来の常識から、もっとも、それらしかたしたのは、西日本の拠点図書館として、数多くの雑誌が、新着書台の上に溢れた時期でした。今は、新着雑誌の種類は激減し、

生命科学図書館の設置当初から今日まで長年ご利用いただいているお二人の先生に、この20年の変化について伺いました。

最初から書架に納められています。図書館を訪れる教職員は希になりました。自室で、電子化された雑誌が閲覧できるのです。図書館では、学生・院生が目立ちます。図書館の職員の方々にとっても、大きな変化の時期で、当分は色々な対応が試みられるでしょう。

さて、この情報化の時代、私たちは、得失、双方に直面しています。距離に無関係に、速やかに、意見を交わせることは、非常な進歩です。でも他方で、私たちは、自己固有の意見の作成などにおいて、退化していないでしょうか。本文は短くて、関連情報が掲載された、WEB上の宛先が付記されているeメールを受け取ることが、多くなりました。こちらは、相手の頭脳で濾過され、当人の意見が付加された情報を求めているのです。それなのに、思考の過程を避けて、情報源を提供するのは、悪い傾向です。

豊かな個性ある発信能力を持った学生・院生を育てることこそ、大学に求められています。このような教育の拠点としての機能の要部を、図書館に期待したいものです。本来、情報の蓄積、交換の利便向上、蓄積情報の資質向上は、以前から図書館に期待されていた諸事でありました。（終）

連続展示第1弾(7-8月) 阪大anatomica～世界の人体解剖図

「人体解剖図」というとみなさんはどんなものを思い浮かべられるだろうか。流通しているものは、わかりやすさ重視の模式的なものから、実際に人体をスキャンして作成したかなりリアルなものまでいろいろとある。ただ、共通して言えるのは、practicalな図として作られているということである。そういった現代の常識からいうと、昔の人体解剖図はとも異質だ。

洋の東西を問わず、近代まで解剖という作業をすることは忌むべきことと考えられていた。そのため、人体を解剖したことがないにもかかわらず、解剖図を描くということが多々あったようである。宗教的な内容に従って描かれたものもあれば、サルなど人間以外の動物を参考に作成されたものもあった。

また、とりわけ近代の西洋世界におい

ては、人体解剖図が芸術作品として作成されることも多かった。まるで生きているかのような骸骨人の解剖図や、サイなどの動物を背景に解剖図が描かれているものもあった。

「人体解剖図」という1つのキーワードから見てみるだけでも、過去の人々と現代のわれわれとの物事の考え方の大きな違いを垣間見ることができ、企画した我々も非常に楽しい展示でした。展示した図書のリストについては生命科学図書館のホームページにて公開しておりますので、よろしければご覧ください。



企画：
藤江雄太郎
白石真之

情報化時代の大学図書館

医学系研究科名誉教授 小野啓郎

江戸時代後期、日本を訪れた外人が驚いたのは庶民の識字率の高さであった。子供や農夫に至るまで文字が読めるというのは、当時の西欧先進国でも“信じられない”ことであった、という。その秘密が寺子屋の普及にあったことが今ではよく知られている。お師匠さんにならって、素読するのが教育の基本であった。

文字を大切に国民性もまた大いに与っていたと思われる。漢字交じりの平仮名文が、この国の急速な近代化に貢献したことは間違いない。書かれたものを大事にするこの国では、公家社会も、近代以前の藩校も民間の塾もそれぞれが図書館を持っていた(図書寮、芸亭-うんてい、金沢文庫、足利学校など)。

明治・大正期、貧しい新興国日本が、開拓地と植民地(朝鮮と台湾)には大学と図書館の整備を優先させた。太平洋戦争期の占領地にはそうする余裕もなかっただろうが。

敗戦後、アメリカ民主主義が日本を変えた。文教政策が学校教育システムを一変し、それを支援する形で大学図書館の充実が図られた。China Medical Boardからの資金援助、図書館システムの近代化、英

文書籍の寄贈がこの国の古い医学と医療を変えていった。一方で、情報の蓄積と処理技術の進歩も予想をはるかに超えた。

20世紀の末、パソコンの普及でインターネットアクセスが自由になると、無料検索サイトPubMedが情報収集の広がり、と研究のスピードを一変させた。

そして21世紀である。大学も大学図書館も変身し続けている。図書館が、もはや教育や研究の現場と切り離せないことはいうまでもない。図書館が時空を超えて情報の結節点となった今日、職員の任務と貢献度は昔日の比ではなかろうとつくづく思う。

大阪大学の生命科学図書館について懸念を二つ：

一つは儒教文化圏からイスラム文化圏へも対象を広げる必要があるはしまいか？

今一つ。加速する情報リテラシーの進歩にマッチしているのかしら？という懸念である。(終)



書架や机がないと、かなり広く見えますね。



生命図@建設中



電子ジャーナルの普及により、新着雑誌展示コーナーは今年なくなりました。



GLOBAL COMMONS オープン

OSAKA UNIVERSITY LIBRARY

2012年11月7日、豊中地区の総合図書館 C棟2Fに多言語・多文化理解のため共同学習スペース「グローバル・commons」がオープンしました。グローバル・commonsは本学の教育理念の一つである「国際性」をサポートすると同時に、「学びのスタイルの多様化」に対応します。

本記事では、阪大生の授業外の学びを支援する場所を拡充するために生まれたグローバル・commonsを紹介します。

授業や セミナーで

授業などに、予約してお使いいただけます。

(1) 授業。単発利用でも構いません。図書館の使い方や本の探し方、本を使った作業を行う場合など、どうぞご活用ください。図書館スタッフも可能な限り協力させていただきます。

(2) 研修会。教職員による研究・教育目的の研修会にもご利用可能です。

(3) セミナーや研究会。学生の皆さんでも可能です。原則的に学内に公開され、交流や学習成果の発表・還元などイベントにご活用ください。

ご利用の際は、事前に日時・人数・用途・希望ゾーンをご相談ください。人数の上限は約20～30名です。

※ラーニング・commonsでも同様のご利用が可能です。

担当：総合図書館サービス企画担当
(servkikaku01@library.osaka-u.ac.jp)



天井設置のプロジェクタあり。セミナー等にも利用可能。

プレゼンテーションゾーン



ワールドニュース閲覧ゾーン

タッチ式ディスカッションテーブル。発表資料をグループで作業して、保存できます。Word等のファイルも利用可能。スキャナ付き。



世界各国の新聞を読む
タッチ式ディスプレイ

★グループインタビュー、アンケートでのご意見を反映しました。

ホワイトボード（柱面・壁面にも）、電源コンセント、イスを多めに設置。テーブルの形も多様な使い方ができるように数種類の形のものを設置しました。これからも使いやすい空間作りを心がけます。



天文同好会による星空観望会前のレクチャー

総合図書館に新しい共同学習スペース



比較的区画の独立性を意識したゾーン。奥側は授業や話し合いに活用できます。

コラボレーションゾーン



フリーゾーン



目的に応じて自由に組み合わせられるゾーンです。



電子黒板も整備

★その他、使用できる機器等

- プロジェクタ（貸出）
- ノートPC（貸出）
- スキャナ（貸出）
- 無線LAN
- 電子黒板（据置型）
- 電子黒板（シート型/貸出）

◆イーストラウンジの整備

東玄関側ホールも改修し、イーストラウンジを整備しました。カップ式飲料の自販機を新設しました。休憩や読書などにご利用ください。



ロゴの コンセプト

■基本コンセプト
多言語多文化理解のための
「つながりと創造」

■ロゴに込めた思い
複数の丸の接続は、異なる言語・文化を背景に持つ個人やコミュニティのつながりを表現しています。

最上部の独立した丸は、そのつながりから新しい価値や多様なアイデアが創造される様子を表現する一方、個人やあるコミュニティが別のコミュニティとつながろうとしている姿も表現しています。

そして、それらの丸の接続でグローバルの頭文字である“G”を形取っています。

ロゴの明るいグリーンは、つながりと創造を促進する空間の“活発さ”“明るさ”を表現しています。

このように、このロゴには、グローバル・コモンズが多言語多文化理解のための「つながりと創造」が生まれる活発で明るい場になる、という思いを込めています。



GLOBAL COMMONS
OSAKA UNIVERSITY LIBRARY

附属図書館では2012年10月より最先端の学術情報検索サービスである「ディスカバリー・サービス」を導入しました。ご存知でしたか？
 とはいえ“最先端の学術情報検索サービス”と言われてもなんだかよく分かりませんよね。こちらの記事では「ディスカバリー・サービス」がこれまでの検索方法とどう違うのか、実際どのように使うのかをご紹介します。

ロゴについて

本サービスのロゴは、当館職員のラフを元に、本学クリエイティブユニットにデザインしていただきました。

クリエイティブユニットは、本学公式ホームページや、全学ディスプレイシステム「O+PUS（オーパス）」の運用管理を担当している部署です。

そのロゴでは、スクールカラーでサービス名称を明示しつつ、本学が未来志向で進んでいくというイメージとして使用しています「Soaring（飛翔）」マークと曲線を重ねています。

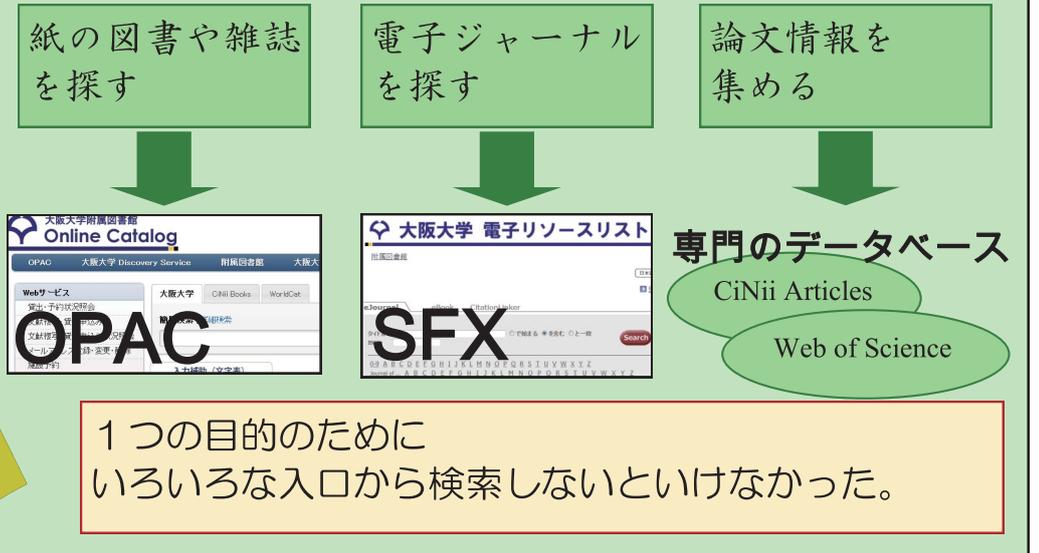
このロゴのように、附属図書館では当サービスが本学の皆さまの学習・教育・研究を支えて、未来につながることを切望しています。

デザインしていただいたクリエイティブユニットに感謝申し上げますとともに、当サービスをどうぞご利用ください。

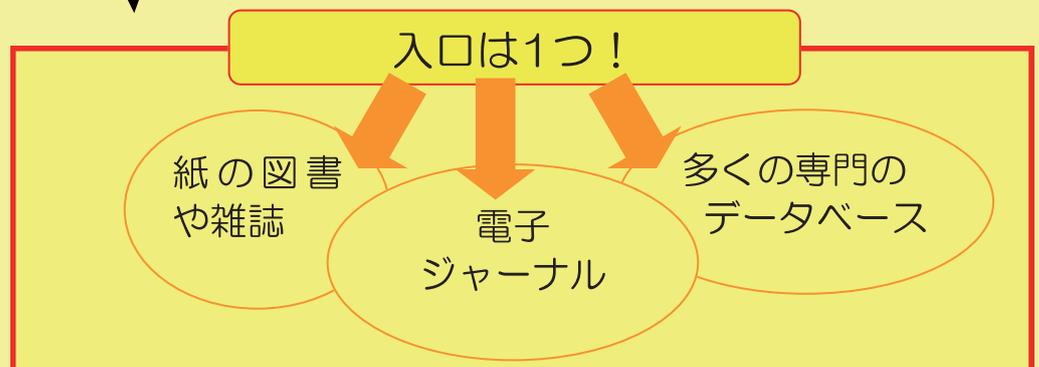
1. ディスカバリー・サービスってなに？

あるテーマやキーワードについて調べたい！

これまでの探し方は…



ディスカバリー・サービスを使うと…



紙の図書雑誌、電子版の図書雑誌をまとめて検索できる。
 多くのデータベースもまとめて検索してくれる。

→ 検索が1度きりですむ！

2. 使い方

図書館Webサイト
トップページの
「まとめて検索」
から使えます。



もう専門の
データベースは
要らない？

ディスカバリー・サービス
でまとめて検索できるなら、
これまで使っていた各分野
のデータベースは不要と思わ
れるかもしれません。

しかし、各分野のデー
タベースの方が優れていると
ころもあります。ディスカバ
リー・サービスはまとめて検
索するという性質上、他分野
の文献も含めて非常に多くの
件数がヒットします。また、
多くの専門データベースは
シソーラスという用語集を持
っていて、収録文献ごとに整
理したキーワードを付与して
いるのですが、ディスカバ
リー・サービスにはそれがあ
りません。そのため、体系的
・網羅的な検索は苦手です。

つまり、探したい分野があ
る程度決まっている場合に
は、やはり専門のデー
タベースを検索した方が、必要
なものに的確にたどり着く可能性
が高まります。

例えば、

分野横断的にざっと調べたい
ときや、新しい研究への
取っ掛かりをつかみたいとき
→ディスカバリー・サービス

専門的な文献を体系的に収
集して、より研究を深めて行
きたい
→専門のデータベース



すぐに多くの検索結果が表示
されます。電子版が全文利用
できる場合は、全文へのリン
クがあります。

また、左側のコラムを使っ
て、いろいろな絞り込みがで
きます。例えば、全文が電子
版で読めるものだけ、ある特
定の分野のものだけなどの絞
り込みができます。

学内で入手できない時は、

 ボタンから
簡単に、学外への取り寄せ申
込へ直接進むこともできま
す。

キャンパス外からも利用できます！



キャンパス外からも大阪大学個人IDでログインすれば、学内に近い環境で利用することができます。ご自宅からお気軽にどうぞ。

蔵書検索システム(OPAC)リニューアル ～便利な機能が増えました～

①Webサービスからの施設予約

検索画面の左側にあるWebサービスのメニュー（施設予約）からログインすると、グループ学習室・個室の予約状況確認や予約申込※ができるようになりました。

※) 理工学図書館は予約状況の参照のみ可能、外国学図書館は利用できません。

②検索タブの切り替え

検索画面中央のタブから「OPAC」「CiNii Books」「WorldCat」の3つの検索タブを切り替えられます。OPACとCiNii Booksの間では、検索語を入力した状態でタブを切り替えても、その検索語を引き継いで検索することができます。

CiNii Books
全国の大学図書館等が所蔵している資料を検索することができます。Webcatの後継サービスになります。

WorldCat
世界の図書館の所蔵コレクションや提供サービスについて情報を得ることができます。



③検索結果の絞り込み

検索結果一覧画面の左側に表示される「関連項目」をクリックすると、簡単に検索結果を絞り込むことができます。

絞り込みは、

- ・所蔵館
- ・データ種別
- ・出版年
- ・出版社
- ・言語
- ・著者

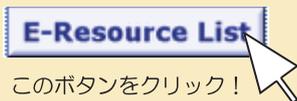
の6つの項目で行うことができますので、ご活用ください。

検索結果一覧画面



④電子ジャーナルへのリンク

雑誌を検索した場合、詳細表示画面の中央（資料詳細と配架場所の間）に電子ジャーナルへのリンクボタンが表示されます。フルテキストが利用できることもありますので、ご確認ください。



⑤文献管理ソフトへの出力

詳細表示画面の右上にある「EndNote / EndNote Webへの出力」ボタンをクリックすると、EndNote Web画面が起動し、書誌情報を取り込みます。

⑥表紙の表示

詳細画面で図書を表紙の写真が表示されるようになりました。最近出版された資料が対象です。館内で資料を探す際にご活用ください。

詳細表示画面

[5 / 6] ◀ 前の書誌 ▶ 次の書誌 ▶

ケルト妖精学 / 井村君江 [著]
(講談社学術文庫 : [1243])

メール送信 EndNote/EndNote Web出力

☐ 詳細を非表示

| | |
|------|---|
| 出版者 | 東京：講談社 |
| 出版年 | 1996.8 |
| 大きさ | 443p, 図版[6]p ; 15cm |
| 一般注記 | 底本:「妖精の承譜」(新書館 1988年刊) 各部末:参考文献 |
| 著者標目 | 井村, 君江(1932-) <イムラ, キミエ> |
| 件名 | B5H:英文学 B5H:民話 -- イギリス 🔍 全ての件名で検索 B5H:伝説 -- イギリス 🔍 全ての件名で検索 NDLSH:昔話 -- アイルランド 🔍 全ての件名で検索 NDLSH:イギリス文学 -- 歴史 🔍 全ての件名で検索 |
| 分類 | NDC8:388.339 NDC8:930.4 |
| 本文言語 | 日本語 |
| ④ 下類 | 書誌ID=2003174313 NCID=BN14853823 Cinii |

ケルト妖精学
井村君江

| 巻次 | 配架場所 | 請求記号 | 登録番号 | 状態 | 利用注記 | コメント | ISBN | 刷年 | ⑦ 予約/取寄 | 複写 |
|----|----------------|--------------|-------------|-----|------|------|------------|----|---------|-----|
| | 総合図-A棟3階 文庫・新書 | 089/GA/1243 | 20300029152 | | | | 4061592432 | | 申込み | 申込み |
| | 理工学図文庫新書 | K/K-1243 | 22400012716 | | | | 4061592432 | | 申込み | 申込み |
| | 外国図3階小型本 | 081/144/1243 | 90004274602 | | | | 4061592432 | | 申込み | 申込み |
| | 言言社欧暁新谷(箕) | 081/144/1243 | 90004292232 | 研究室 | | | 4061592432 | | | |

⑦学内図書の取寄申込

詳細表示画面から学内図書の取寄を申込みことができます*1。受取館も申込時に9館室から指定できるようになりました*2。詳細表示画面の「予約/取寄」欄に「申込み」ボタンが表示されている図書が対象です。ぜひご利用ください。

※1) 雑誌本体の取寄はできません。掲載論文単位の複写については取寄可能です。

※2) 総合図書館、生命科学図書館、理工学図書館、外国学図書館、人間科学研究科、薬学研究科、微生物病研究所、蛋白質研究所、産業科学研究所の各図書室

Webからの学外図書取寄・学内外への複写物取寄申込には、事前にWeb申込の利用申請が必要です。詳しくは最寄りの図書館室にお問い合わせください。

各種申込には大阪大学の個人IDとパスワードが必要です。



総合図T A

こんにちは。総合図書館T Aの松原です。基礎工修士2回生でシステム工学を専攻しております。T Aとして業務に当たっております。はるばる他県から古い蔵書を閲覧しに来られる方、論文の取り寄せを頼まれる先生、レポートを書きに来る学生、討論、昼寝、デートと様々な人間模様に触れることができます。

図書館はただ書籍が置いてあるだけの場所ではないのだと日々認識を新たにし、楽しんで従事させて頂いております。

はじめまして、理工学図書館T Aの村井です。私たち図書館T Aは主に平日の午後、ラーニング・コモンスの片隅に座っています。

私たちの仕事、それはプリンタの不具合対応だけではなく、例えば、EXCELで複雑なグラフを作りたいとき、パソコンをMacBookに買替えようか悩んでいるとき、試験の傾向を知りたいとき等、多岐にわたります。

貴方の人生に、もっと図書館T Aを活用してください。留学生は多言語を操り、僕は手話も対応できます。生かすも殺すも貴方次第です。

理工学図T A



図書館T A

(ティーチング・アシスタント) を紹介します！

図書館T Aってなに？

図書館T Aの存在をご存じですか。図書館T Aとは、図書館での学びをサポートする大学院生のスタッフのことです。様々な分野を専門とする図書館T Aが、学生のみなさんの先輩として以下のようなサポートをしています。

2012年度

【スタッフ数】 総合図：6名
理工学図：7名
外国学図：6名

【活動内容】

- 学習相談
- レポート作成のアドバイス
- パソコンの操作法の説明
- プレゼンテーションの指導
- おすすめ本リストの作成
- パスファインダーの作成
- 各種ミニ講習会の実施
- 図書館ツアーの案内 など

【日時】 授業期間の平日午後

【場所】 各図書館の
ラーニング・コモンス



質問、相談、なんでもOK!
気軽に声をかけてください。
皆さんの利用を待ってます。

ミニ講習会開催

図書館T Aは、個別相談だけではなく、OPACやデータベースの使い方を中心とした図書館活用法、その他多岐にわたる内容の講習会を、ラーニング・コモンスで行っています。

特色はなんといっても、講師と受講者との距離が近いこと。講師を務めるT Aは大学生活の先輩なので、彼らが実際に経験して得た、研究を進める際に役立つ情報を聞くことができます。

また、少人数でも受けられるので気軽に質問もでき、聞きっぱなしで終わってしまうこともありません。活用しない手はないですね。

2012年度実施の講習会

- 初心者向け論文検索講習会
- 学術論文検索ミニ講習会（英語編・日本語編）
- 新HSK6級対策講座
- プレゼンテーションに強くなるために
- コミュニケーション・ワークショップ



ミニ講習会の様子@総合図書館

2012年7月1日～
2012年10月31日受領分

澤井実(経)
・近代日本の研究開発体制
(名古屋大学出版会, 2012)

山下仁(言文)
・リテラシー再考(三元社,
2012)

杉本信正(基工)
・Nonlinear Acoustics :
State-of-the-Art and Per-
spectives ISNA19 (AIP
Press, 2012)

松行輝昌(学際C)
・国際開発と環境(朝倉書店,
2012)

谷口勢津夫(高司)
・税法基本講義第3版(弘文
堂, 2012)

難波誠(名誉教授)
・幾何学: 現代数学から見た
ユークリッド原論(シュブリ
ンガー・ジャパン, 2007)

玉井誠一郎(産研)
・知財インテリジェンス(大
阪大学出版会, 2012)

池田光穂(CSCD)
・臨床知と徴候知(作者,
2012)

長崎広子(言文)
・Indian and Persian
prosody and recitation
(Saujanya Publications,
2012)

田野村忠温(文)
・質問調査法と統計処理(明
治書院, 2012)

※敬称略、順不同

NEWS☆図書館からのお知らせ

図書館利用者アンケート(LibQUAL+®)を実施しました

◆附属図書館では、第二期中期計画の下、図書館業務の改善を常に図っていくために隔年で利用者アンケートを実施することにしており、今年度はその実施年にあたっています。今回も、2008年、2010年に続き、北米研究図書館協会のLibQUAL+®(ライプカル・プラス)という図書館サービス品質測定調査ツールを用いて調査を行いました。(実施期間11月1日から11月30日まで)◆1162名の方から回答をいただき、多数の励ましのコメント、お叱り、ご要望をいただきました。この声を真摯に受け止め、今後のサービス向上に反映させていこう、努力してまいります。◆調査の結果については、後日、図書館Webサイトを通じて公表いたします。調査にご協力いただきありがとうございます。

生命科学図書館1階レイアウト変更 [生命科学図]

◆ブラウジングコーナー(写真右)

学生証や利用者票をお持ちでなくても、各種新聞などを読むことができます。

◆1階閲覧席(写真左)

背の高い書架を取り払い、見通しがよくなりました。机・座席(120席)を配置し、静かに学習できる空間となっています。ぜひご利用ください。



キャリア支援コーナー [理工学図]

◆総合図書館に続き、8月、理工学図書館にもキャリア支援図書コーナーをオープンしました。◆総合図書館とともに、今後は、進路選択に関する資料はもちろんのこと、卒業後の自らのキャリア形成を考えられるような資料や、職場等で活かせる基礎的な知識を習得できる資料なども収集していく方針です。◆キャリア支援図書コーナーの詳細は、本誌14ページをご覧ください。

個室、グループ学習室のWeb予約開始 [総合図、生命科学図]

◆11月より、館内の個室、グループ学習室のWeb予約が可能になり便利になりました。◆申込は図書館WebサイトやOPAC画面左側の、Webサービスメニュー「施設予約」からログインして行うことができます。◆予約可能な部屋は、総合図書館(豊中)の研究個室、生命科学図書館(吹田)のグループ学習室及び個室です。

学生選書Web実施

◆11月15日から30日まで、学生選書Webを実施しました。◆4月の店頭選書ツアーとともに恒例の企画となっており、今回も25名の定員に対して、65名の応募がありました。激戦の中、選書権を手にした参加者の方が選んだ本は、12月以降順次、各図書館の書架に並びますので、お楽しみ下さい。

留学生オリエンテーション [総合図、外国学図]

◆附属図書館では、国際部学生交流推進課および日本語日本文化教育センターからの依頼を受け、10月から大阪大学で受入予定の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。◆総合図書館では、9月28日に、協定校からの交換留学生120名、インターナショナルカレッジ生22名を対象に、英語による図書館説明と館内見学ツアーを行いました。◆また、外国学図書館でも、9月27日に、2012年度秋学期の学生を対象(Jプログラム57名、Mapleプログラム61名)にした館内見学ツアーを実施しました。

工学部オープンキャンパス 2012に参加 [理工学図]

◆理工学図書館は、8月9日の工学部オープンキャンパス 2012に参加し、館内見学ツアーや図書館スタンプラリー、展示企画「理工学図書館の今と昔」、電子資料体験、といった多彩な催しで、1000人を超える見学者を迎えました。

レポートの書き方講座(全3回) 後期も開催 [総合図]

◆学部1年次生をターゲットに、レポートの書き方の基礎を身に付けてもらうための連続講習会を開催しました。前期は3クラスに分かれ堀一成准教授(全学教育推進機構)、附属図書館職員、図書館TAがそれぞれのクラスを担当し、全体でのべ105名もの参加がありました。◆予想していた以上の参加者数ということから、後期に追加開催することになりました。◆今後も全学教育推進機構と協力しながら、講習の回数を増やしていきたいと考えています。

中国人民大学図書館からの訪問

◆11月12日、中国人民大学図書館のご一行が総合図書館を訪問されました。附属図書館からは高橋文治副館長、杉村博文副館長らが出迎え、懇談を行い、図書館の蔵書、サービス、電子リソース整備への取り組みなどについて、活発な意見交換を行いました。

プレゼン入門 “話す”基本技術 ミニ講習会を開催 [総合図]

◆総合図書館では、9月に標記のミニ講習会を開催しました。2月に開催し好評だった企画をさらにグレードアップさせて、今回は発展編も組み入れました。◆「自分の考えを、自分の言葉で」アウトプットできること、ロジカルに話ができることをテーマに、「型」を使った話し方、声やアイコンタクトの使い方のコツについて学び、その後、各自1分間スピーチの実習を行いました。発展編では、ブレインストーミングの練習や、スピーチをビデオ撮影したものを講評しあうということも行いました。◆1回生から博士2回生まで幅広く15名の参加があり、アンケートでも好評を得ました。

各館図書展示

- ◆第30回「14冊の本棚」：映画にまつわる図書14冊+α[外国学] 2012.10
- ◆総合図書館の特設コーナーに「iPS細胞・ES細胞・再生医療」[総合] 2012.10
- ◆図書展示「ノーベル賞の世界」[理工学] 2012.10
- ◆「学生選書ツアー(6月26日開催)」で選書された図書の展示[各館] 2012.8
- ◆阪大anatomica～世界の人体解剖図[生命科学] 2012.7
- ◆第29回「14冊の本棚」：新書大賞2012から14冊+α[外国学] 2012.7
- ◆図書展示「倫敦五輪」[理工学] 2012.07



キャリア支援コーナー

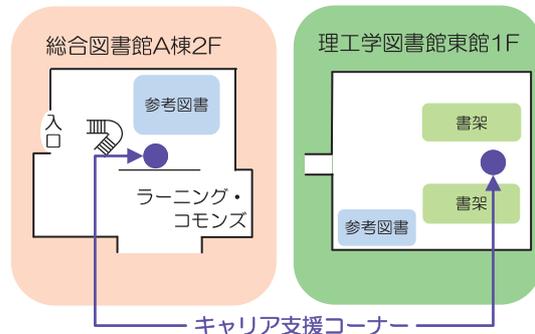
12月は就職活動がスタートする月ですね。就職・キャリアガイダンスや各種の就職対策講座に参加される方も多いでしょう。ところで、皆さんは、図書館にキャリア支援コーナーが設置されていることをご存知でしょうか？ 就職活動はもちろんですが、大学院進学や留学等さまざまな「将来」を考え行動する際に役立つ、キャリア支援コーナーをご紹介します。

●○○キャリア支援コーナーとは？●○○

2011年8月に総合図書館に、2012年8月に理工学図書館に、キャリア支援コーナーが新設されました。

キャリア支援コーナーには、豊中・吹田キャンパスの各学生センターに置かれていた資料に加え、新たに購入した資料も置いています。就職活動のための本だけではなく、仕事観の吟味、留学の参考、研究生活の手引き、女性のキャリア関係等の資料もあります。

就職活動をする方だけでなく、進路について悩みを抱えている方、留学を考えている方、大学でどのように学習すべきかわからない方にも役立つ資料が見つかるはずですよ。



●○○よく利用されている資料は？●○○

| キャリア関係の活動 | 貸出ランキング上位の資料 (全て総合図書館の資料) |
|--|--|
| 8~11月 ●自己分析 ●業界研究 ●職種研究 | 8 ① 中学英語教師 田尻五郎の仕事 (NHK プロフェッショナル 仕事の流儀) NHK制作・著作 請求記号: 366.29/PUR |
| | 9 |
| | 10 ② 面接対策：マンガで完全再現！ (日経就職シリーズ) 渡辺茂晃著、日経就職ナビ編集部編 請求記号: 377.9/WAT/2012 |
| | 11 |
| 12~2月 ●エントリー、資料請求 ●オープンセミナー、業界セミナー ●OB・OG訪問 | 12 ③ 就活成功の秘訣：4000人を面接した元採用担当者が教えます 梅田幸子著 請求記号: 377.9/UME |
| 2012 | 1 |
| | 2 ④ 就活の勘違い：採用責任者の本音を明かす 楠木新著 請求記号: 377.9/KUS |
| 3月 ●エントリーシート、筆記試験 | 3 |
| 4月 ●面接 | 4 ⑤ 就職四季報 東洋経済新報社 請求記号: 377.9/TOY/2013 |
| 5月 ●通年・秋採用を考える人も ●公務員試験 | 5 ⑥ 大学院入試小論文の書き方 佐々木昭則著 請求記号: 816.5/SAS |

左の表は2011年8月から2012年5月までの、総合図書館キャリア支援図書コーナーの人気資料と、キャリア関係の活動の時期をまとめたものです。

8~11月は職種研究や業界研究のために①『**中学英語教師 田尻五郎の仕事**』等の「プロフェッショナル」シリーズのDVDがよく利用されるほか、②『**面接対策：マンガで完全再現！**』等の面接対策の資料に人気がありました。この時期からこのコーナーの資料を活用して面接対策をしている人も多いようでした。12月には就職活動サイトがオープンし、各企業の説明会やセミナー等の活動が本格的に始まります。この時期に③『**就活成功の秘訣**』や④『**就活の勘違い**』のような採用担当者の本音を書いてある資料に人気が出ました。エントリーシートや面接のことだけでなく、就職活動全体の流れも抑えることができます。4、5月以降は⑤『**就職四季報**』の貸出回数が増え、客観的な企業の情報を集めるために活用されていました。間近に迫った大学院入試の対策のために⑥『**大学院入試小論文の書き方**』等の大学院入試対策の資料の利用も増えました。

このように就職活動や大学院入試それぞれの時期に対応した様々な資料を用意しています。ぜひキャリア支援コーナーの資料に目を通してみてください。

コースリザーブの紹介

授業支援の一環として、一部のプログラムを対象に、指定された図書を別置き、履修者に翌日まで貸出するサービスを行っています。

対象プログラムは、超域イノベーション博士課程プログラム、およびG30です。

総合図書館(豊中)A棟3階、理工学図書館(吹田)東館1階のコースリザーブ図書コーナーにまとめて配架しています。

当該科目を履修している方のみ翌日まで貸出できます。2012年12月現在、総合図書館に260冊、理工学図書館に138冊配架しています。



全国遺跡資料リポジトリ・シンポジウムを開催！

～文化遺産の記録をすべての人々へ！～

2012年11月15日(木)、大阪大学附属図書館は、総合図書館 図書館ホールにおいて、全国遺跡資料リポジトリ・シンポジウム「文化遺産の記録をすべての人々へ！」を、全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト(主幹校：島根大学附属図書館)との共催により開催しました。

全国遺跡資料リポジトリとは

リポジトリとは、様々な学術情報を収録した「電子書庫」です。遺跡資料リポジトリは分野ごとに構築された主題リポジトリの1つで、考古学分野の基本資料である発掘調査報告書を全文電子化し、インターネット上に無償で公開しようとするものです。遺跡という貴重な文化遺産の記録でありながら、発行部数が少なく流通範囲も限定され、一般に利用しづらい発掘調査報告書を、将来にわたって誰もが教育や調査・研究に利用できるようにすることを目指す大学図書館発のプロジェクトです。

プロジェクトは国立情報学研究所の最先端学術情報整備(CSI)委託事業として2008年度に開始されました。現在では、大学図書館と自治体の連携のもと、全国22の府県域においてプロジェクトの活動を行っており、約12,000冊、約120万ページの発掘調査報告書等を公開しています。

大阪府遺跡資料リポジトリとは

大阪大学附属図書館と大阪府内の各自治体文化財担当部署が連携・協力し、大阪府内で発行された発掘調査報告書を電子化し公開しています。

現在、25の自治体(大阪府、大阪市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、茨木市、八尾市、八尾市財団、富田林市、河

内長野市、箕面市、柏原市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、田尻町、河南町、千早赤阪村)の協力のもと、506タイトルの発掘調査報告書を公開しています。

<http://rar.library.osaka-u.ac.jp/Repository/>

シンポジウム概要

東日本大震災と「発掘調査報告書」電子化の意義

2011年3月11日に東日本大震災が発生しました。この震災で多くの文化財が被害をうけると同時に、文化財の情報を記した「報告書」類も大きな被害を受けました。「発掘調査報告書」も被害を受けた報告書の1つです。宮城県石巻市の石巻文化センターでは、一般図書を含む報告書類が津波の被害を受けました。これらはNPO法人の協力を得て、処置が実施されていますが、汚れは落とせるものの、固着してしまったものは修復するのが難しく、廃棄せざるを得ない状況です。

東北大学(埋蔵文化財調査室、考古学研究室)では、こういった失われた「発掘調査報告書」を宮城県内の関連機関と協力し、リポジトリに登録・公開できるよう準備をすすめています。

「発掘調査報告書」を電子化し、遺跡リポジトリに公開するという事は、冊子体を消失した際のバックアップという意味合いを持つと同時に、失われた刊行物を社会に流通させるための有益な手段ともなります。

遺跡資料リポジトリのこれまで、これから

これまで、全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクトは、その趣旨に賛同した各国立大学図書館が、府県の自治体に協力を呼び掛けるという形をとり、22府県域まで拡大してきました。

しかし、これまで大学主導型のモデルをとってきたため、自治体が遺跡リポジトリに参加したいと考えていても、大学図書館側の事情に左右され、参加できないという事例も発生してきました。

そこで、今後新たな参加自治体を拡大し、また持続可能な事業として発展していくために下記の2つを促進していく予定です。





①自治体のセルフアーカイブ促進

新規に発行される「発掘調査報告書」を定期的に登録・公開するためにも、自治体によるセルフアーカイブを行っていくことが望ましいといえます。しかし、ネットワークに制限がある自治体も存在します。このような通信回線速度等のネットワークに制限のある環境下でも、安定的な登録を実現するために、OS依存の低いモジュールを開発し配布します。

②各地自治体の直接参加

大学図書館の事情に左右されず、個々の自治体の判断で参加を可能にする「広域モデル」を模索しています。都道府県で管理す

るのではなく、複数地域の報告書をまとめて搭載できる、自治体セルフアーカイブ型のモデルを考えています。

現在、奈良文化財研究所と共同で広域モデルの実証実験を進めています。

これらを実践することにより、委託事業が終了する来年度以降も、このプロジェクトが持続的に参加地域を拡大し、安定的に運営される事業となることを目指していきたいと考えています。

学術情報整備室
小笠原静華

| | |
|-----|--|
| 第1部 | 全国遺跡資料リポジトリはどこまで来たか？ ●「全国遺跡資料リポジトリの現状と今後の計画」 矢田貴史 プロジェクト事務局（島根大学附属図書館） ●「被災地の復興支援と遺跡資料リポジトリ」 菅野智則 東北大学 埋蔵文化財調査室文化財調査員 |
| 第2部 | 全国遺跡資料リポジトリはどこへ向かうのか？ ●「国立国会図書館における遺跡資料—紙からデジタルまで」 村上浩介 国立国会図書館関西館 電子図書館課課長補佐 ●「考古学アーカイブと遺跡資料リポジトリ」 赤塚次郎 愛知県埋蔵文化財センター 副センター長 ●「遺跡情報記録と発掘調査報告書」 森本晋 奈良文化財研究所 文化財情報研究室長 |
| 第3部 | パネルディスカッション コーディネータ／笹本正治 信州大学副学長（附属図書館長） パネリスト／菅野智則、村上浩介、赤塚次郎、森本晋、矢田貴史 |

